

令和2年度 第4回 政策調整会議 会議録①

◆開催日時:令和2年6月9日(火) 13:00~13:20

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:堤副市長、大下教育長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長

◆審議事項

- ・令和3年度国家予算に対する要望について……………企画課⇒承認
- ・令和3年度大阪府予算に対する要望について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『令和3年度国家予算に対する要望について』

『令和3年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉西川企画課長、井上担当長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉国家予算に対する要望2点目の交通連携推進事業について、そもそも何故市道並松上松線は限度額立体交差事業としたのか。

〈総 務 部 長〉連続立体交差事業は、周辺の面整備を含め一体的に実施することが事実上採択の要件となっていたが、面整備を一体的に行うことが難しく、高架事業に優先して取り組むためにこのような事業方法を選択したという経過がある。

〈教 育 長〉今回の要望は、議会で市単独でできないものについて国や府に要望する旨の答弁したものは網羅されているか。

〈井上担当長〉個別に直接大阪府や国に要望しているものについては、企画課では把握できていない。

〈教 育 長〉議会での答弁が実際に行動に移されているか確認しておく必要はある。大阪府予算に対する要望5点目の災害対策の充実において、河川の土砂災害で問題となるのが、流木対策である。流木の堆積によって被害が拡大することがある。その防止のため、予め倒木の恐れのある木を伐採するなどの対策を行うことがあるが、牛滝川等で必要ないかどうか確認し、必要であれば来年度以降合わせて要望していくように。

〈企 画 課 長〉承知した。

〈財 務 部 長〉前年度要望しているが、今年度は要望していないものはあるか。

〈井上担当長〉丘陵地区における農地の基盤整備については、令和2年度に事業がピークを迎え、令和3年度は事業規模が小さいことから、今回は取り上げていない。1点補足として、要望方法について、市長からWEB会議を提案されたところ。各会派に対し、本市においてWEB会議が可能である旨の連絡をしており、大阪維新の会については、開催するとすればWEB会

議開催となる見込み。ただし、自民党及び公明党については現状未定である。
〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認し、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年6月2日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第14条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和3年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	西川企画課長
	井上担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第4回会議
付議事項	令和3年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	①行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
国の厳しい財政状況により、国から本市への補助金の減少が懸念される。

＜課題＞
国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。
なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	HRI年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

						目標値				
	指標名	単位	H30年度	HR1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。

令和2年6月2日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第14条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和3年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	西川企画課長
	井上担当長
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第4回会議
付議事項	令和3年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
大阪府の厳しい財政状況により、大阪府から本市への補助金の減少が懸念される他、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

＜課題＞
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	HRI年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		無						

★取組の効果を表す指標

						目標値				
	指標名	単位	H30年度	HR1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。